

大津市歴史博物館 企画展

大津の浄土宗寺院

之於念佛求生者
逃胎離板

新知恩院

と

乗念寺



平成28年

10月15日(土) — 11月27日(日)

大津市歴史博物館

【開館時間】午前9時から午後5時(入場は午後4時30分まで)

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL.077-521-2100
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

【休館日】月曜日、11月4日・24日

【特別協力】新知恩院・乗念寺

【主催】大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞

【後援】NHK大津放送局・BS朝日湖放送・radio

【協力】浄土宗滋賀教区・浄土宗滋賀教区大津組

【観覧料】一般800円(640円) 高大生400円(320円) 小中生200円(160円)

※()内は、前売り、15名様以上の団体割引、大津市内在住の65歳以上の方、大津市内在住の障がい者の方、介護保険の要介護者の方・要支援者の方の割引料金(証明するものをご提示ください)。
※前売り券は、大津市観光案内所(JR大津駅・石山駅・堅田駅前)、大津市民会館、ローソンチケット(Lコード54077)をはじめ、京阪津地区の主なプレイガイドで9月1日から11月27日まで発売。

新知恩院と乗念寺



選択本願念仏集 室町時代 新知恩院蔵(表写真右背景)
法然上人の著作として著名。新知恩院を建立した
高僧上人所持のもので、研究のあとが残っています。



観經变相圖 鎌倉時代 乗念寺蔵
「当所曼荼羅」とも呼ばれ、極楽浄土の様子を描いています。
滋賀県現存の屈指の古例です。

大津には、我が国の浄土思想の母山、
比叡山があります。平安時代の12世紀にここで修
業した法然上人は浄土宗を広めたことで知られ、大津
にも多くの浄土宗寺院が建立されました。

そのうち、伊香立下在地町にある大谷山華頂寺新知恩院
は、京都の知恩院が応仁の乱(1467~77)の時に疎開してでき
た寺院で、知恩院ゆかりの宝物をはじめとして、多くの寺宝が伝来
しています。また、京町の香光山乗念寺は、天正16年(1588)澄蓮
社信譽助栖によって開創され、江戸時代には、大津の浄土宗寺院
の組織「大津門中」の一ヶ寺として、大津百町の町人や檀信徒の
信仰を集めました。

本展では、伊香立の歴史の一端を伝える新知恩院と、大
津百町の歴史を物語る乗念寺に伝わる仏像や仏画、そ
して古文書などの貴重な宝物を展示し、大津の
浄土宗寺院の歴史について紹介します。



阿彌陀二十五菩薩来迎図 鎌倉時代 新知恩院蔵
往生者に向かって来迎する阿彌陀如来と諸菩薩、踊るように並ぶ姿は、
極楽浄土をイメージさせます。重要文化財。



法然上人絵伝 江戸時代 乗念寺蔵(表写真左背景)
法然上人の波乱万丈の生涯の様々な場面を、大きな軸4幅に
描いています。



釈迦涅槃像 鎌倉時代 新知恩院蔵
木像では珍しいシャカが入滅した姿で、胸に水晶をはめるという特殊な技法を使用しています。



乗念寺文書 江戸時代 乗念寺蔵
堂舎普請や遠忌関係の記録、宗門改め帳などの帳簿類のほか、本山や末寺との往復文書、
また大津町人との関係を示す古文書も残されています。

[表写真]
右/法然上人立像 鎌倉時代 新知恩院蔵 当寺の本尊で、写実的な作風から鎌倉後期に遡る。我が国現存最古級の法然立像。
左/聖観音立像 平安時代 乗念寺蔵 10~11世紀に造像された、旧大津町における屈指の古像。重要文化財。

関連講座 時間はいずれも14時~15時30分

※有料。事前申込要。詳しくは大津市歴史博物館まで。

- 10月22日(土)……「近江の浄土宗」/今堀太逸氏(佛教学部歴史学教授)
- 10月29日(土)……「四天王寺の浄土信仰—西門と日想親をめぐって—」/一本崇之氏(四天王寺宝物館学芸員)
- 11月5日(土)……「新知恩院の木造釈迦涅槃像」/寺島典人(当館学芸員)
- 11月12日(土)……「敦煌における浄土変について」/田林啓氏(白鶴美術館学芸員)
- 11月13日(日)……「当麻曼荼羅について」/北澤菜月氏(奈良国立博物館研究員)
- 11月19日(土)……「新知恩院文書を読む—歴史と由緒—」/高橋大樹(当館学芸員)
- 11月20日(日)……「浄土教絵画の諸相」/鯨井清隆(当館学芸員)
- 11月26日(土)……「乗念寺文書を読む—近世都市寺院の歴史—」/高橋大樹(当館学芸員)

